



独立行政法人  
大学改革支援・学位授与機構  
National Institution for Academic Degrees and Quality Enhancement of Higher Education

# 機構ニュース

Vol.239 2023 May

## 今月の記事

### Top News

- 令和5年4月助成事業部 発足 ..... 1
- 令和5年度大学・高専機能強化支援事業の  
公募を開始 ..... 2

### 調査研究

- 研究開発部教員紹介 ..... 3

### 評価事業

- 令和5年度認証評価機関連絡協議会評価担当  
職員研修の開催について ..... 5

### 学位授与事業

- 短期大学・高等専門学校卒業生等を対象とする  
単位積み上げ型の学位授与関係 ..... 6

### 機構の窓

- 会議の開催状況
- 学位審査会専門委員協議会の開催について  
..... 7
- 新型コロナウイルス感染症対策について  
..... 7

### 主要行事日程

- Schedule (5月～6月) ..... 8

## TOP NEWS

### ○ 令和5年4月助成事業部 発足

独立行政法人大学改革支援・学位授与機構は、令和5年2月28日に文部科学大臣が決定した「独立行政法人大学改革支援・学位授与機構法第十六条の二に規定する助成業務の実施に関する基本的な指針」に基づき、中長期的な人材の育成の観点から科学技術・イノベーション基本計画等の政府全体の戦略・方針に掲げられているデジタル・グリーンを中心とした成長分野における教育研究活動の展開を促進し、もって我が国社会の発展に寄与することを目的とした「大学・高専機能強化支援事業」を展開するため、令和5年4月に「助成事業部」を設置しました。

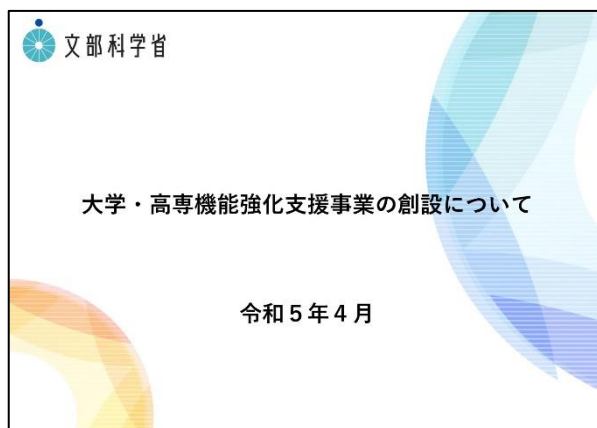
助成事業部は、大学の学部再編等による特定成長分野への転換等及び高度情報専門人材の確保に向けた機能強化等を目指す大学・高専に対し必要な資金に充てるための助成金を交付し、その取組を促進します。

## ○ 令和5年度大学・高専機能強化支援事業の公募を開始

助成事業部では、令和5年度大学・高専機能強化支援事業の公募を開始しました。公募の詳細については、機構ウェブサイトをご確認ください。

• [公募情報](#)

• [公募説明動画](#)



## • 公募・交付スケジュール

公募期間：令和5年4月18日（火）～令和5年5月24日（水）17時

審査等：令和5年5月下旬頃～7月頃

選定結果通知：令和5年7月中

交付決定：令和5年7月頃

## 調査研究

### ○ 研究開発部教員紹介

戸田山 和久 教授・研究開発部長



機構とは、大学機関別認証評価や国立大学教育研究評価の専門委員にはじまって、客員教員として評価のお手伝いをするお付き合いでしたが、この4月に気がつく専任教員に、それどころか研究

開発部長になっていました。ほら、あれです。ホラー映画で、無軌道な若者が好奇心に駆られて、よせばいいのにシリアルキラーが潜んでいる薄暗い地下室にわざわざ入り込んでいって餌食になる、みたいなシーンがよくあるでしょ。まさにそんな感じで、私はいまここにいる、というわけです。そして、これまで評価業務を通じて知った気になっていた機構の姿は、機構のほんの一部、まさに氷山の一角だったのだということを思い知りつつあります。

思えば、私と哲学の付き合いもそんな風にして始まったのでした（申し遅れました。私は哲学者です）。大学入学当初は農学部か理学部に進学して生物学者になるつもりでした。当時はバイオテクノロジーの黎明期で、私もDNAを思う存分いじくり回して、ケツタイな生きものをつくりたいなどと、マッドサイエンティスト的野望を抱いていたのです。ところが生物学者になるために必須のど根性と器用さのどちらも自分には備わっていないことがわかってきました。何せ、当時の実験系研究室は「24時間戦えますか、ジャパニーズ・サイエンティストお」が当たり前の世界だったのに、こちら小学校の通信簿で毎学期「怠惰である」「粘り強さに欠ける」「飽きやすい」と書かれ続けた経歴の持ち主。さらには、ユスリカの幼虫の首筋？からピンセットで唾液腺を取り出すとして、幼虫を真っ二つ、という具合。とてもつとまりそうにない。こんなわけで、生物学者の夢破れ悶々と

していたときに、出会ってしまったのだ。哲学に。

なんとなく受講した教養科目の「哲学」は、「同一性の問題」がテーマ。つまり、何かと何かと同じというのはどういうことか、という問題です。これは考えてみると実に興味深い問題で、というのも、「何かと何かと同じ」というのが新しい知識をもたらし、ときには科学上の大発見にもなる（水分子はH<sub>2</sub>Oと同じだ、なんてのはそれ）ならば、そこに出てくる「何か」と「何か」はとりあえず違うもののはずだ。でも、この「何か」と「何か」は同じものなんです。だから、あるものが自分自身と同じだということがなぜこんな認識上の価値をもたらすことができるのか。こういう問いが立ち上がることとなります。かなり無理矢理な感じもしますけど。私が驚いたのは、「同じ」ってどういうこと、「同じだということがわかる」ってどういうこと、何がわかったの、などという問いについて1年間も講義できる！という事実でした。哲学って何だかヘンだ、面白そうだ、と思っちゃったんですよ、若気の至りで。

で、好奇心に駆られた私は教務課職員の止めるのも聞かず「文転」して（進学届を一日待ってあげるから、よく考えて明日持ってらっしゃい、と言われた。ホントの話）、魔の巣窟たる哲学科に進学し、それ以来ずっと哲学者を自称しているわけですが、飽きやすさを本質とする私のことですから、あっという間に哲学にも飽きました。正確に言えば、哲学って何よ、そんなもの一体何になるわけ？という世間様の声に耳を塞ぎ、いかにも「テツガク的な哲学」に自己陶醉しながら邁進するという哲学のあり方にうんざりしてしまったのです。それ以来、哲学の解体消滅を目指す「反哲学」が、私の哲学になりました。哲学的方法やそれで得られる知識の独自性と特権性を否定して、哲学を科学と地続きにしようとする自然主義、哲学を概念を創造・改訂する工学として捉

える概念工学などの旗振りをやってきました。かと思うと、「哲学的」な思考が助けになるのではと思っている哲学者でない人々と哲学者と一緒に彼らの抱える問題を考えるためのフォーラムとして「応用哲学会」を立ち上げたりもしたな、そういえば。

一方で、私は遅れてきた啓蒙主義者でもあります。啓蒙主義というのはだいたい次のような考え方です。人々は生まれながらにして理性を備えているのに、その理性を使えば幸せになれるはずなのに、そうになっていないのはなぜなんだ。それは、いろんなしがらみ（困襲、宗教的・世俗的権力…）が理性の行使を邪魔しているからだ。ここらでいっちょ、こうしたしがらみを一掃して、理性をフル稼働させ、みんなで惨めな人生にオサラバだ。ただし、概念工学の理念を信奉する自然主義者でもあるので、私のバージョンの啓蒙主義は一味違う。人間の備えている理性は特別なものじゃない。動物の頃からもっていた情報処理システムに毛のはえた進化の産物だから、最適設計にはなっていない。なので、組織・制度・装置・訓練などなどの人工物をうまく設計してエンハンスしてやらないといけない、そのための設計技術が新しい啓蒙主義だ、ということになります。

そうすると、啓蒙主義哲学の産物は何も論文や書物に限られないんじゃないでしょうか。例えばカリキュラムなんてのも、学生の理性を開花させるための仕組みですから、啓蒙のための人工物と言えそう。ってんで、名古屋大学時代の最後のお仕事は、教養教育のカリキュラム改革でした。前任の教養教育院長からしばしば言われていたのが、ウチの教養教育はガラス細工だから下手にいじってはいかんよ、だったのですが、やってみての感想は、なんだ変えようと思えば変えられるじゃん、でした。新しいカリキュラムは、私の啓蒙・教養の理念を具体化したのになっています。もちろん部分的かつ不完全に、ですけど。

大学評価も、大学という理性主体を対象とした啓蒙（＝理性のエンハンスメント）の試みと言えないでしょうかね。内部質保証システムというのは、大学が自分の理性を反省的に捉えるための理性、すなわち反省的理性の役割を果たすためのものとして捉えることができそう

です。そういえば、大学改革支援も啓蒙主義も、そこはかたなく「余計なお世話」感が漂っている点で似ています。

というわけで、ほら、いかにも大学改革支援・学位授与機構への就任挨拶らしい文章に着地したでしょう？ 哲学者のこじつけ能力を甘くみてはいかんよ。

---

とだやま かずひさ 文学修士（東京大学）

令和5年3月まで 名古屋大学大学院情報学研究科教授・  
名古屋大学教養教育院長

令和5年4月から 本機構研究開発部教授

## 評価事業

### ○ 令和5年度認証評価機関連絡協議会評価担当職員研修の開催について

令和5年4月26日（水）から27日（木）の2日間にわたり、令和5年度認証評価機関連絡協議会評価担当職員研修を開催しました。本研修は、認証評価機関職員間の連携及び情報共有の促進と職員の資質向上を目的として、加盟14機関により構成される「認証評価機関連絡協議会」が主催し、各機関の若手職員が研修内容を企画しているものです。

昨年度まで1日で実施していた本研修を、今年度は1日目にオンライン形式の講演、2日目に対面形式のグループディスカッションにより、初めて2日間にわたって開催しました。

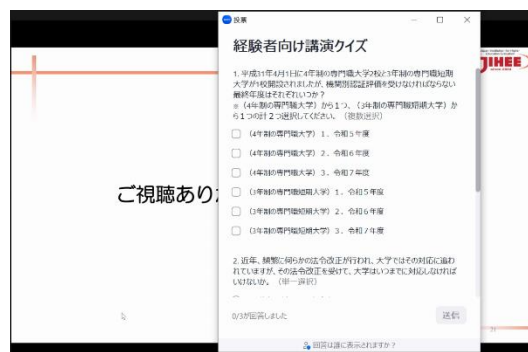
1日目は、当機構の光石理事による開会挨拶の後、初任者と経験者に分かれ、大学基準協会の工藤事務局長による初任者向け講演、日本高等教育評価機構の伊藤常務理事・事務局長による経験者向け講演を参加者へ配信し、その後、初任者・経験者共通のプログラムとして、文部科学省高等教育局大学教育・入試課の山田課長補佐による講演を配信しました。

2日目は、「認証評価機関の職員に求められること」をテーマとしてグループディスカッションが行われ、活発な議論の後、各グループがその成果を発表しました。最後に、大学教育質保証・評価センターの中田事務局長による講評・閉会挨拶をもって研修を終了しました。

研修の参加者は約120名に上り、認証評価制度に関する理解及び認証評価機関相互の情報共有につながる研修となりました。



光石理事による開会挨拶



経験者向け講演におけるクイズ



グループディスカッション

## 学位授与事業

### ○ 短期大学・高等専門学校卒業者等を対象とする単位積み上げ型の学位授与関係

当機構では、短期大学や高等専門学校を卒業、あるいは専門学校を修了するなど、すでに高等教育機関において一定の学習を修めた者に対して、新しい学士への途を開いています。

当機構の「学士の学位」を取得するためには、上記学校を卒業または修了するなど一定の学習を修めた後、大学において科目等履修生制度を利用するなど必要な単位を修得し、「修得単位の審査」及び「学修成果・試験の審査」を受ける必要があります。この二つの審査に合格すると、大学卒業者と同等以上の学力を有すると認められ、「学士の学位」が授与されます。

(※短期大学・高等専門学校卒業者等を対象とする単位積み上げ型の学位授与(学士)について詳しく知りたい方は、[こちら](#)をご覧ください。)

学位授与申請は、毎年度2回(4月期と10月期)受け付けており、令和5年度4月期においては、271人の申請を受け付けました。令和5年度4月期は6月11日(日)に試験を全国2か所(東京・大阪)で実施する予定です。新型コロナウイルスの状況により、延期等の変更が生じる可能性がありますので、機構ウェブサイトで最新の情報をご確認ください。

### ■令和5年度4月期申請における試験日程について

#### 1 試験日・試験場

試験の区分	試験場	試験日時
小論文試験 (学修成果として レポートを提出した者)	東京地区 独立行政法人 大学改革支援・学位授与機構小平本館 東京都小平市学園西町1-29-1	令和5年6月11日(日) 10時30分~12時00分 14時30分~16時00分
	大阪地区 大阪私学会館 大阪府大阪市都島区網島町6-20	令和5年6月11日(日) 10時30分~12時00分
面接試験 (専攻の区分「音楽」、「美術」、 「演劇」のいずれかでレポート 以外の学修成果を提出した者)	東京地区 独立行政法人 大学改革支援・学位授与機構小平本館 東京都小平市学園西町1-29-1	令和5年6月11日(日) 面接試験時間は受験票で ご確認ください。

#### 2 受験票などの送付

受験票は、受験者心得とともに試験日の10日前までに送付しています。令和5年度4月期においては、5月19日(金)に送付しました。

#### 【お問合せ先】

独立行政法人大学改革支援・学位授与機構管理部学位審査課

〒187-8587 東京都小平市学園西町1-29-1

電話：042-307-1550(問合せ専用)

受付時間：9:00~12:00 13:00~17:00(土・日曜、祝日、年末年始を除く。)

## 機構の窓

### ■ 会議の開催状況

#### ○ 学位審査会専門委員協議会の開催について

令和5年4月20日（木）に、学位審査会専門委員のうち本年度より新規に就任された委員等を対象に、今後の審査等が適切かつ円滑に進められるよう、協議会をオンラインにて開催しました。当日は、機構の担当者から学位授与制度及び審査スケジュール等の説明が行われました。

#### ○ 新型コロナウイルス感染症対策について

当機構では新型コロナウイルス感染症対策として、令和5年4月の機構主催の各行事について、以下のとおり対応を行い開催しました。

令和5年4月

開催日	行事名	対応	担当課
20日	令和5年度学位審査会専門委員協議会	ウェブ開催	学位審査課
25日	高等専門学校機関別認証評価検討ワーキンググループ (第6回)	ウェブ開催	評価支援課



## 主要行事日程

### ○ Schedule

5月

日	行事名	担当課
19日	<a href="#">学位審査会（令和5年度第1回）</a>	学位審査課
19日	令和5年度大学・高専機能強化支援事業選定委員会（第1回）	事業推進課
24日	令和5年度大学・高専機能強化支援事業公募締切	助成課
26日	令和5年度高等専門学校機関別認証評価委員会（第1回）	評価支援課

6月

日	行事名	担当課
11日	令和5年度4月期学位授与試験（小論文）（東京地区、大阪地区） ※	学位審査課
11日	令和5年度4月期学位授与試験（面接）（東京地区） ※	学位審査課
14日	令和5年度法科大学院認証評価委員会（第1回）	評価支援課
15日	令和5年度法科大学院認証評価における評価担当者に対する研修会	評価支援課
19日	大学機関別認証評価等に関する説明会及び令和6年度に実施する大学機関別認証評価等に関する自己評価担当者等に対する研修会	評価支援課
中旬	令和5年度大学機関別認証評価における評価担当者に対する研修会	評価支援課
20日 23日	令和5年度高等専門学校機関別認証評価における評価担当者に対する研修	評価支援課

※ 新型コロナウイルス感染症の状況により、上記のスケジュールについて変更、延期などの影響が生じる可能性がありますので、機構ウェブサイトに掲載される最新の情報をご確認ください。



独立行政法人

大学改革支援・学位授与機構

National Institution for Academic Degrees and Quality Enhancement of Higher Education

